多核ホウ素錯体からなる旗蝶番型色素の合成とメカノフォアへの 応用

(九大院工¹・九大 CMS²) ○前田 桃花¹・小野 利和¹,²・久枝 良雄¹,²
Synthesis of flag hinge dyes consisting of polynuclear boron complexes and their application to mechanophores (¹Graduate School of Engineering, Kyushu University, ²Center for Molecular System (CMS), Kyushu University) ○Momoka Maeda,¹ Toshikazu Ono,¹,² Yoshio Hisaeda¹,²

Polymeric materials that change their apparent color or luminescence in response to mechanical stimuli are expected to be used as stress sensors. To achieve this, molecules whose absorption and emission properties change in response to mechanical stimuli (mechanophores) are attracting attention. However, there are few reports of mechanophores that show reversible responses. In this study, we focused on polynuclear boron complexes as mechanophores and synthesized flag hinged dyes by dimerization of polynuclear boron complexes via single bonds. Here, we synthesized a set of flag-hinged dyes for mechanophores. The dye was then combined with polymeric materials, and the optical properties of the combined polymer materials were evaluated during stretching and relaxation.

Keywords: Light-emitting materials, Boron complex, Mechanophore, Sensor

機械的刺激に応答して着色や発光色が変化する高分子材料は応力センサーとして 期待されている。これを実現する一つの方法として、機械的刺激に応答して光学特性 が変化する分子(メカノフォア)が注目を集めている。しかしその多くは、共有結合 の切断などの注力が置かれており、不可逆な応答を示すものが多く、可逆的な応答を

示すメカノフォアが求められている¹⁾。そこで本研究ではメカノフォアとと 究ではメカノフォをニアとと なる核ホウ素錯体を二量化した旗蝶番型色素を関連 規に合成した。屈曲角度 変化に応じて、着色や発光 もし、共有結合を介して、 を生ずることを 特し、共有結合を介して、 が表現れている。 が表現れている。 が表現れている。 を生ずることを はいる。 を生ずることを はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 にいる。 はいる。 はい。 はいる。 はい。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 はい。 は、 はい。 はいる。 はい。 はい。 はい

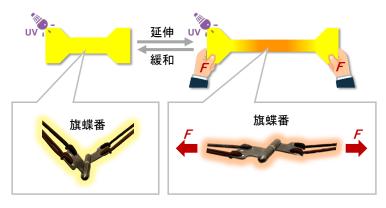


図1 延伸・緩和時の光学特性変化イメージ

1) Mechanochromic polymers are reported. Y. Chen, G. Mellot, Chem. Soc. Rev. 2021, 50, 4100.